

小さな生物園が

絶滅危惧のチョウを守っていた。



第3回

ツシマウラボシシジミ 保全シンポジウム



ツシマウラボシシジミを救った
生息域外保全と昆虫館

2023. 3. 21

13:00-16:30

会場：竹の塚地域学習センター（講堂）

※オンラインでも観覧可能です。

- ・感謝状授与式 比田勝 尚喜（対馬市長）/近藤 やよい（足立区長）
- ・基調講演 矢後勝也（日本鱗翅学会/東京大学総合研究博物館）
- ・講演 中村康弘（特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会）
- ・講演 水落 渚（足立区生物園）
- ・講演 神宮周作（対馬市農林水産部自然共生課）
- ・総合討論 進行：矢後勝也（日本鱗翅学会/東京大学総合研究博物館）

ツシマウラボシシジミ



長崎県対馬北部にのみ分布する日本固有の小さなシジミチョウ。近年シカによる食害などで急速に生息数が減少。

国内
希少野生
動植物種

絶滅危惧
IA

対馬市
天然
記念物



足立区



対馬市



詳細と申込方法
は裏面へ

ツシマウラボシシジミ保全シンポジウム

—ツシマウラボシシジミを救った生息域外保全と昆虫館—

ツシマウラボシシジミって？

日本では長崎県対馬北部にのみ分布する開張*2cmほどの小さなシジミチョウです。近年シカによる食害などで生息数が急激に減少しており、2017年には種の保存法「国内希少野生動植物種」に指定されました。環境省や対馬市をはじめ、市民や飼育施設など様々な方々の地道な活動によって保全されています。今回は本種の緊急避難から飼育下繁殖までの生息域外保全の拠点となった生物園のある足立区で、保全の経緯とこれからについて考えます。

※開張：翅を開いた時の左右の端から端までの長さ。



2023.3.21 13:00-16:30

会場：竹の塚地域学習センター（講堂） ※オンラインでも観覧可能です。

感謝状授与式

13:00- 感謝状授与式

比田勝 尚喜（対馬市長）

近藤 やよい（足立区長）

本種の生息域外保全への貢献を称え、生息地である対馬市の市長より感謝状の授与が行われます。



シンポジウム

13:40- 矢後勝也（日本鱗翅学会/東京大学総合研究博物館）
基調講演 「ツシマウラボシシジミの現状と持続的保全をめざして」

14:00- 中村康弘（特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会）
講演① 「最後に残った生息地でのツシマウラボシシジミの再発見！緊急の保全活動へ」

14:20- 休憩(10分間)

14:30- 水落 渚（足立区生物園）
講演② 「生物園にきたツシマウラボシシジミの飼育下繁殖への挑戦」

14:50- 神宮周作（対馬市農林水産部自然共生課）
講演③ 「ツシマウラボシシジミの再導入と域内保全への貢献」

15:10- 進行：矢後勝也（日本鱗翅学会/東京大学総合研究博物館）
総合討論 「ツシマウラボシシジミ保全に向けた未来への展望」



会場アクセス

竹の塚地域学習センター

〒121-0813 足立区竹の塚2-25-17



- ・東武スカイツリーライン「竹ノ塚駅」より徒歩7分
- ・東武バス綾20・24系統、竹14・15系統「公園前」下車1分
- ・都バス北47系統「公園前」下車1分
- ・東武バス竹17系統「竹の塚一丁目」下車1分

お申込み方法

【会場参加】

WEBフォームまたは電話（下記の問い合わせ先）でのお申込みになります。フォームの方は右のQRコードを読み取ってください。

【オンライン参加】

WEBフォームのみでのお申込みになります。右のQRコードを読み取ってください。

お問い合わせ

 **足立区生物園**
Adachi Park of Living Things

TEL:03-3884-5577



【会場参加】
申込みWEBフォーム



【オンライン参加】
申込みWEBフォーム